## 目 次

はじめに

| 第1講 社会のルールと法律 ————                | — і  |
|-----------------------------------|------|
| 1.0 悪法も法なのか                       | I    |
| 1.1 法律には「人を殺すな」とは書いていない           |      |
| 【社会のルールと法律】                       | 2    |
| 1.2 信号機がなかったらどうなるか【法律と国家の役割】      | 6    |
| 1.3 法学は丸暗記の学問か【法学の内容と役割】          | 10   |
| 学問への扉                             | 14   |
| 第2講 法の解釈 ————                     | — 17 |
| 2.0 小説の解釈に正解はあるのか【introduction】   | 17   |
| 2.1 マンションでウサギを飼えるのか【法律の解釈】        | 18   |
| 2.2 「ルールのルール」の世界                  |      |
| 【法律の条文を読む際に大切なこと】                 | 22   |
| 2.3 逃げずに決断すること【法律の条文を解釈する際に大切なこと】 | 26   |
| 2.4 裁判官だって素人じゃないのか【法律の解釈と裁判所】     | 30   |
| 2.5 法解釈に「唯一の正答」はない【法解釈論・余滴】       | 34   |
| 学問への扉                             | 38   |
| 第3講 法の領域                          | — 41 |
| 3.0 六法は6つの法律ではない【introduction】    | 41   |
| 3.1 悪事にはトリプルパンチ【民事責任と刑事責任の区別】     | 42   |
| 3.2 試験のカンニングは犯罪だ【刑法と刑事責任】         | 46   |
| 3.3 キャンパスライフで身近なのは民法【民法と民事責任】     | 50   |
| 3.4 大学の学則は行政法に近い【公法と私法】           | 54   |

| 学問への扉  | 58    |
|--|-------|
| 第 <b>4</b> 講 民法総則 ———————————————————————————————————— | — 61  |
| 4.0 わかっちゃいるけどやめられない【introduction】                      | 61    |
| 4.1 朝起きてから、大学に来るまでに<br>【契約と意思表示(1) 契約および詐欺・強迫】         | 62    |
| 4.2 「間違えました」はキャンセルできるのか<br>【契約と意思表示(2) 錯誤および消費者立法】     | 66    |
| 4.3 三角関係はややこしい<br>【契約と意思表示(3) 虚偽表示および第三者】              | 70    |
| 4.4 1週間でレポートを書いて提出してくれと言われたら<br>【公序良俗および一般原則】          | 74    |
| 4.5 飲食代金は時効でチャラになるのか<br>【消滅時効・取得時効】                    | 78    |
| 4.6 大学生は、正式に契約を結べるのか【権利能力・行為能力】                        | 82    |
| 4.7 大学も法人という「人」である【法 人】                                | 86    |
| 学問への扉  | 90    |
| <b>第5</b> 講 物 権 法 —————————————————————————————————    | — 93  |
| 5.0 自分の物なら、壊してもいいのか【introduction】                      | 93    |
| 5.1 自分の物ならどうしてもいいのか【所有権・占有権】                           | 94    |
| 5.2 友人に預けていたものを勝手に売られたら                                |       |
| 【所有権の移転】   | 98    |
| 学問への扉  | 102   |
| 第6講 契約法——債権法(1)————                                    | - 105 |
| 6.0 電車が遅れるのは契約違反か                                      | 105   |
| 6.1 友だちに貸したお金が返ってこない【債権総論】                             | 106   |
| 6.2 注文したピザが届かない【債務不履行】                                 | 110   |
| 6.3 細かいネットの規約を読まないと【債権各論 契約総論】                         | 114   |
| 6.4 タダでくれると言ったのに【契約各論 (1)】                             | 118   |
| 6.5 結果を残してこそプロか【契約各論(2)】                               | 122   |

V

| 学問           | への扉  | 12   |
|--------------|--|------|
| 第 <b>7</b> 講 | 香 不法行為法──債権法 (2)———————————————————————————————————— | - 12 |
| 7.0          | 事故は決して起きてはならないというけれど                                 | 12   |
| 7.1          | スマホを見ていて人とぶつかったら<br>【不法行為(1) 過失、因果関係】                | 13   |
| 7.2          | 命にも値段がつけられている【不法行為(2) 損害の賠償】                         | 13   |
| 7.3          | 未成年なら許されるのか【 <b>不法行為(3) 特殊な不法行為</b> 】                | 13   |
| 7.4          | 人助けを途中でやめてはいけない【不当利得・事務管理】                           | IZ   |
| 学問           | への扉  | IZ   |
| 第8講          | 家族法————————————————————————————————————              | - 14 |
| 8.0          | 家族はしょせん他人か【introduction】                             | I    |
| 8.1          | 婚約破棄や浮気は許されるのか【婚姻法】                                  | 1    |
| 8.2          | 夫/妻の顔を見るのも嫌になったら【離婚法】                                | I    |
| 8.3          | 父/母が本当の親でなかったら ·····【親子法】                            | I    |
| 8.4          | 親の借金が子どもにのしかかる【相続法】                                  | 1    |
| 学問           | への扉  | 1    |
| 第9講          | <b>行</b> 政 法———————————————————————————————————      | - 16 |
| 9.0          | 火事になったら自分の家にも入れない【introduction】                      | 1    |
| 9.1          | 大学生になったら運転免許をとりたい<br>【行政行為(・行政処分)】                   | 17   |
| 9.2          | 受付窓口の気分次第では困る【法律による行政】                               | I,   |
| 9.3          | 試験の成績、ギリギリセーフかアウトか【行政による裁量】                          | I,   |
| 9.4          | 停学や退学処分を下されたら【行政行為の効力】                               | 18   |
| 9.5          | 大学の新設に賛成する人、反対する人<br>【行政不服審査・行政事件訴訟】                 | 18   |
| 9.6          | パワハラ/アカハラに負けるな【国家補償】                                 | IĢ   |
| 学問           | への扉  | ıç   |

| — 197 |                      | 憲      | 第10請 |
|-------|----------------------|--------|------|
| 197   | どう決めるか[introduction] | どう決めるた | 10.0 |
| 198   | 差別か【基本的人権】           | 女子大」は  | 10.1 |
|       | <b>青くのも表現の自由か</b>    | 悪口をネット | 10.2 |
| 202   | 【精神的自由、経済的自由】        |        |      |
| 206   | 「なかったら【社会権、その他】      | 大学に行くは | 10.3 |
| 210   | Jの主役は大学生だ【統治機構】      | 憲法をめぐる | 10.4 |
|       | )ために                 | 憲法と大学に | 10.5 |
| 214   | 【財政、地方自治、憲法改正、基本原理】  |        |      |
| 218   |                      | の扉     | 学問へ  |
|       |                      |        |      |
|       | I mm I               |        |      |

あとがき――この本は「入門」ではない。 文献リスト

## 25 番教室の窓

大学における授業と教員 16 授業における双方向性 40 授業の教科書 60 授業のレジュメ 92 戦争の記憶 104 法学はなぜつまらないイメージがあるのか 128 どうしても買えない本 148 法律科目の期末試験 168 行政法はつまらないけど大事 196 25番教室の子羊たち 220